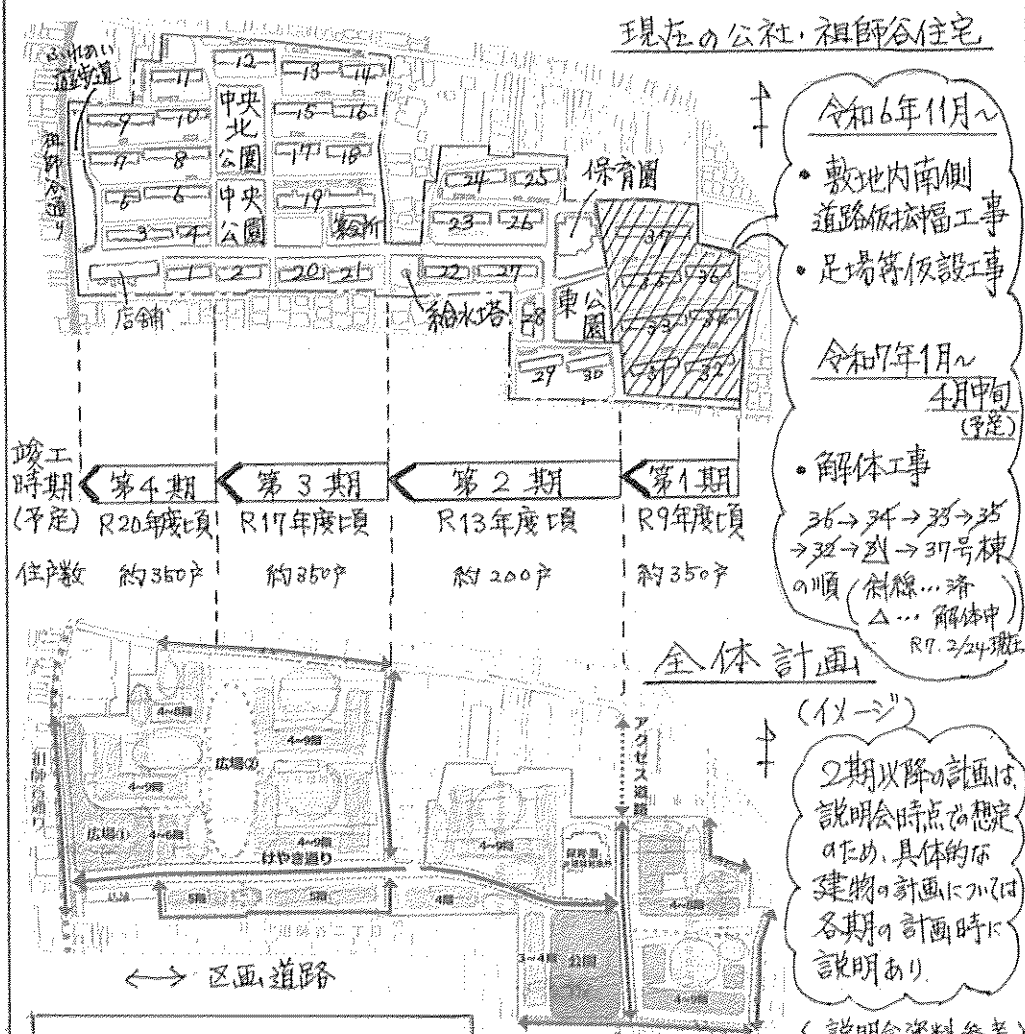


《変わりゆく祖師谷》

公社・祖師谷住宅(通称祖師谷団地)⇒(仮称カースト祖師谷)
第1期建替工事 始まる (祖2丁目)



意見交換会

(世田谷区砦総合支所 街づくり課)
・令和2年 7月・10月
・令和3年 7月・12月

素案説明会

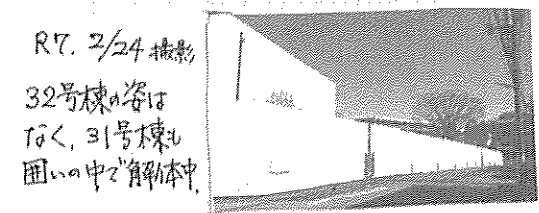
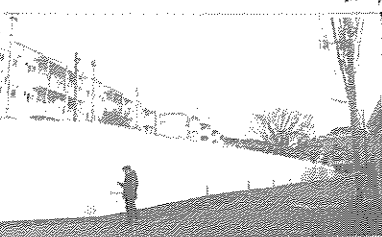
(世田谷区砦総合支所 街づくり課)
・令和4年 2月

建替計画に関する説明会

(東京都住宅供給公社 住宅供給企画部 建設推進課)
・令和5年 9月
・令和6年 3月

問い合わせ

東京都住宅供給公社 住宅供給企画部
建設推進課 03-3409-2261(代)
建設計画係



左奥に見えるのは最後の解体と行つた37号棟

祖師谷第4自治会の会長として長年にわたり地区の発展に
貢献された矢島光正氏が1月にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈りいたします。

《まちづくりセンターからのお知らせ》

☆在宅避難時の食事作りどうする？☆

令和7年3月22日(土)に実施予定。申込期限は3月13日まで。

主催：日赤祖師谷分団

☆春の歩こう会☆

令和7年3月26日(水)に実施予定。申込期限は3月18日まで。

主催：祖師谷地区身近なまちづくり推進協議会 健康づくり部会

☆子ども用品交換会☆

令和7年4月26日(土)に実施予定。

主催：祖師谷地区ごみ減量・リサイクル推進委員会

※詳しくは祖師谷まちづくりセンターまでお問合せください！

地域防災の報告と予定

千歳小学校避難所運営訓練	2/8(土)	千歳小学校
祖師谷第5自治会防災勉強会	2/9(日)	まちセン活動フロア
塚戸小学校避難所運営訓練	2/16(日)	塚戸小学校
千歳中学校避難所運営訓練	2/22(土)	千歳中学校
祖師谷第3自治会防災教室	2/22(土)	まちセン活動フロア
令和6年度第2回世田谷区いっせい訓練 (シェイクアウト訓練)	3/11(火)	世田谷区全域
祖師谷第3自治会安否確認カード掲出訓練	3/11(火)	第3自治会区域
祖師谷第6自治会安否確認カード提出訓練	3/11(火)	第6自治会区域
千歳台南会安否確認カード掲出訓練	3/11(火)	千歳台南会区域
祖師谷小学校避難所運営訓練(建物チェック講習会)	3/12(水)	祖師谷小学校
祖師谷第4自治会防災訓練	3/22(土)	千歳台2-17路上

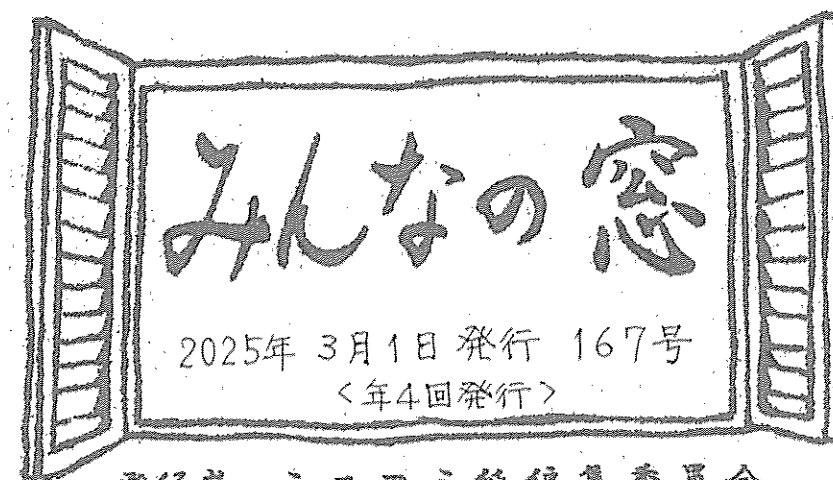
1年間、150日、700時間に及ぶ撮影を
見守られた校長先生にお話をうかがい
ました。

子どもの気持ちを大切にしながら、
ていねいに撮影が進められ、子どもたちも
着飾ったり何かいいことを言おうとする
ことはなかったそうです。

「子どもたちをすてきに撮ってもらって
ありがたい」「いろいろな方が教育について
語り合う機会になればいいです」と
おっしゃっていました。



塚戸小学校校長
長谷川和典先生



発行者 ミニコミ紙編集委員会

事務局 祖師谷まちづくりセンター(TEL 3482-2201)

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kurashi/007/005/004/001/d00037453.html>

ドキュメンタリー映画

『小学校～それは小さな社会～』

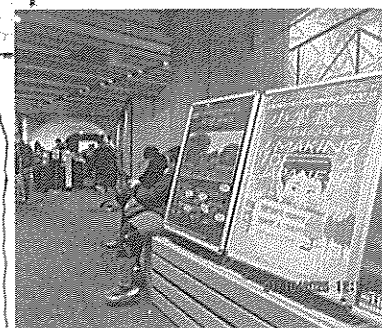
監督：山崎エマ

2022年4月から1年間、塚戸小学校で撮影され、
昨年12月に塚戸地区公開された『小学校～それは小さな社会～』
が注目されています。

神戸で生まれ、19歳で渡米して山崎監督は、アメリカ
での体験から、“責任感”“勤勉さ”などの自分の強みは
大阪の公立小学校で培われたと感じ、日本の小学校の
教育制度を世界に紹介したいと考えました。

「東京五輪開催の機会に国際的な相互理解を深める」
という目的で世田谷区が協力し、映画でも描かれて特別
活動(掃除、給食の配膳など)の研究を行っていた
塚戸小学校での撮影が決まりました。

内容のおもしろさに加え、見慣れた風景を美しい映像
で見られるのも、私たちにうれしい映画です。



各地の映画館
で上映中
(2月末時点)

この映画から生まれた短編版
『Instruments of a Beating Heart』

が第97回アカデミー賞の短編
ドキュメンタリー部門にノミネート
されました。

惜しくも受賞は逃しましたが、
日本人監督による日本題材の
作品のこの部門でのノミネートは
史上初!

「ニューヨーク・タイムズ」運営の動画
配信サイト「Op-Docs」で無料で
見ることができます。

春のイベント

- 観桜会 主催 祖師谷千歳台自治会 10:00~13:00
 第14回 桜を見る会・ミニコンサート・子ども賞品探し大会
 千歳台パークハウスフォレストリエ玄関前広場
 3月30日(日) 10:50~12:00
 主催 千歳台南会・千歳台パークハウスフォレストリエ管理組合
 桜まつり 主催 祖師谷昇進会商店街振興組合
 弁天祭 主催 祖師谷公園 4月7日(月) 神事のみ 根ヶ原講中
 花祭り 観世音堂 4月8日(火) 甘茶提供 9:00~12:00

「古着・古布の回収」令和7年5月17日(土)午前9時30分~11時30分
 (祖師谷地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、祖師谷3Rの会)
 詳しくは区報・区広報板ポスター・区ホームページをご覧ください。

注意 住宅火災 多発!!

(表1) 住宅火災の出火原因

1位	電気関連
2位	たばこ
3位	放火
4位	ガス・ストーブ
5位	ライター

表の1・2は、令和6年度中に成城消防署管内で発生した住宅火災の状況ですが、電気関連がダントツに多くなっています。

火災事例
 フラグとコンセント間の金属物(ハガマフ、エイン、かき針等)挟み込みによる出火
 リチウム電池による火災
 モバイルバッテリーに強い衝撃を与えたことにより出火

(表2) 電気火災の原因内訳

1位	プラグ
2位	コード
3位	マルチタップ

トラッキング現象による火災
 コンセントや差し込んだプラグに付着した粉埃等が湿気を帯びて微小なスパークをくり返し、やがて出火

火災防止ポイント

調理中はこまめに離れない
 エプロン・アームカバー・カーテンなど防炎品に
 こまめにストーブの周りに物を置かない
 ストーブの上で洗濯物を干さない
 ストーブへの給油は必ず消してから
 プラグ・コンセントは定期的に掃除
 使わない時はコンセントからプラグを抜いておく
 コードは束ねて使用しない
 電源タップは決められた内容量で

寝たばとは絶対ない
 吸殻を捨てる時は断熱
 家具など重もの下敷き・折れ曲がりに注意
 家の周りに燃やしやすいものを置かない

公社・祖師谷住宅 (祖・2丁目)

通称、祖師谷団地と呼ばれています。
 長い間、住んでいた方と現在、住んでいる方からお話をききました。

◇ 70代 女性 (祖師谷在住)

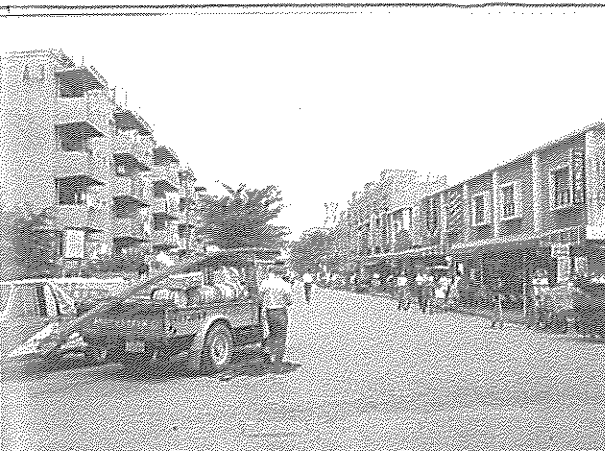
「昭和33年(1958年)小学校6年生の時、父が抽選に当たり、両親と弟の4人で入居しました。家賃が高いため高給の方、芸術家、文化人などが多く、団地のお嬢さん曲という歌もありました。結婚により団地を退去しましたが、何度かの抽選でやっと入居しました。10年ほど住み今の所に越しました。子ども時代は幼い子がいっぱい。広場でよく遊びました。子育て中はお互いに助け合い楽しく過ごしました。良い思い出ばかりです。」

◇ 70代 女性 (団地在住)

「約40年住んでいます。入居するにあたり20回以上も抽選をし、やっと入居しました。木が多く花も咲き、きれいな団地です。駅から遠くなく買い物にも便利です。最初は一軒家の棟に住んでいましたが、建て替えにより西側の棟に越しました。一番ありがたかったのは、家賃の更新がないことです。」

編集後記

◇ 二月上旬と下旬、最強・最長寒波が襲来、積雪はなかつたものの東京もかなり寒い日が続いた。北極付近の気圧上昇や偏西風の蛇行により、北極にあるべき冷たい空気が日本に南下したのだそう。日本海側には記録的な大雪となった。
 だが、気象庁のデータによると、東京都心の冬は冷えない。これは、100年ほど前から変化して、冬は最低気温が氷点下は数減しているという。地球温暖化による気候変動で、今後さらに寒暖差が大きくなる可能性があり、寒気の南下が収まると異常に暖かくなるかもしれない。
 ◇ 通常「二月三日」が節分だった。立春の日と地球が太陽を回る時間に生じるズレを「うるう年」や「うるう日」で調整しているとのこと。それにより、木々や鳥たちはちゃんとその季節の大きな節目を感じているように、いつの間にか、春の訪れが、まだ訪れは先の春ですが、我々人間にもその気配に気がつくられる。
 ◇ 二〇二五年は、どんな年になるのだろうか。
 観測史上初の震度7で防災の原点となった阪神淡路大震災から30年、新型コロナウイルス感染症の国初確認から5年、昭和百年と己年今年はいくつかな意味ある節目の年となりそう。三月は年度末で何かと忙しいが、平穏な佳年となるように切に祈る。◎ 編集：斎藤・鯉坂・山本・権田



昭和36年(1961年)

祖師谷通りより
 臨む団地入口
 の写真

令和7年(2025年)



けやき通りの構は、今程伸びてなくて、店舗も今より低い建物で、店舗の奥に1号棟や給水塔が見える

沿革

昭和29年(1954年)には、これまでの団地規模では需要に対応しきれず、大規模な団地整備が求められるようになった。そうした背景のもと、祖師谷2丁目において公社が初めて一団地住宅経営として大規模な団地建設に着手する運びとなった。1956年6月に第1期が竣工し、翌1957年5月に第2期が完成した。

昭和32年(1957年)入居時の家賃は4,100円~5,200円。当時の大卒初任給が平均12,000円であったので「高級団地」と呼ばれていた。

(ウィキペディアより)

建物の周囲はわりと広くて緑が多い、空気がきれい、騒音が少なく、いつも静かである。敷地の公園の地下には大きな非常用地下水槽設備があって火事に対しても安心している。そう。家賃は各入居所帯の収入額にスライドしたものである。こんなところにも住み易さの原因の一つがあると思います。

ミニコミ紙「みんなの窓」13号(1986年9月1日発行)より